

以下の例文は、「オーダーメイドの服」の「仮寸法」の段階の物です。選んでも「ブカブカ」「そのままでは着れない」可能性が高いでしょう。

そこで以下の三つをご提案します。

- ①自分なりに選択し、電話で相談・質問【無料】
- ②違う例文(ネットで公開)を考えてもらう【無料】
- ③完全オリジナルの原稿を考えてもらう【有料】

**0120-03-4946**

**24時間受付 ゼロサン よく読む**

**ブログで**

**公開のスピーチは無料**

文章を

「目で追い」

「声に出して読み」

「『自分ならこう言いかえる』という観点でメモする」

その上で

「これでいいのかな」

「違う判断なら、聞き手にどう伝わるだろう」

という「頭のトレーニング」をしながら、

(話すか削る)

(どちらか／選ぶ)

を判断してもらえればよいでしょう。

次は選択肢です。

<< (1) (2) のうち、ご自身の判断に一番近い文章を

選択ください>>

※ 「両方のいい所をつなげたい」はるです。散漫になります。

※ 「添削してほしい」「質問がある」という場合には  
info@speechreibun.com までメールをください。

(ブログやYouTubeでの公開が前提ですが、無料でお答え  
します)

## 判断のポイント

✓ 誰もが知る有名な人、前振りはいらない。

✓ いや、それでも若い人たちの中には知らない人もいる  
かもしれない。説明する方が良い。

---

### (1)

① パナソニック

② 松下電器 (今のパナソニック)

④の創業者である

⑤を（創業し／一代で築き上げ）た

（2）

（この部分は割愛する）

松下幸之助さんが、「衆知を集める」という言葉をよく

①（使わ／話さ）れ

②語っ

て（い／おられ）ました。

次は選択肢です。

判断のポイント

✓ 大上段に構えるのか？ すつきりと話すのか？

✓ 「シユウチ？ 羞恥のこと？」と勘違いされる可能性をつぶしておこうか？

もしくは、「いや、そこまで考えなくてよい」という判断を行うのか？

(A1)

「衆知を集める」すなわち（「大衆の知恵を集める」という意味であり）

(A2)

(分かりやすくいえば／つまり)

次は選択肢です。

判断のポイント

✓ 「衆」の範囲をどこまで絞るのか？ 極端と受け止められないか？ 中途半端にはならないか？

(B1)

(みんな／全員)

(B2)

(たくさん／より多く)の人

の

次は選択肢です。

(C1)と(C2)を「続けて話す」「片方だけ話す」どちらでも結構です。

判断のポイント

✓ 「衆知」の「知」をどうとらえるのか？

✓ 「①認識」「②評価」「③創造」

「衆知」を仮にこの三つのサイクルと定義づけければ、それをどう伝えるのか？

「ポイントを絞り込んで話す」のか？ 「三つ全てを話す」のか？

---

(C1) ※事実を認識する力

- ① (知識／情報／経験)、
- ② (この部分は割愛する)

---

(C2) ※物事を評価する力

- ① (見識／見解／判断)、
- ② (この部分は割愛する)

(そして、)

※価値を生み、創造する力

(アイデア／発想／知恵)



(など) を (共有する / シェアし合う) ことが

次は選択肢です。

判断のポイント

✓ 「思い込みを話す」 「確信を語る」 「問いかける」 「あな  
たの目的は何でしょうか？」

(D1)

①大 (切 / 事)

②必要

だと思いません

(D2)

求められるのではないでしようか

。

次は選択肢です。

判断のポイント

✓ 「衆知」を「具体的な行動」でどう形にするのか？ 自分の立場で語るのか？ より多くの人に気づきのヒントを伝えるのか？

(E1)

「自分の分身を作る」という言葉があります。

「(いわれるままに動く／形だけ真似る)」という人ではなく、

「この人(が自分)のなら、ど(のように考え、どう行動／う)するだろう」という人を育(て／成す)るという意味です。

まさしく、このような(人がいる)

(E2)

一人の人の力には限界があります。(そして、一人の力に寄りかかるといふことは、その人がいなくなれば、ゼロになってしまうといふことを意味します。)

そうではなく、実務においても、モチベーションを高める上においても、お互いの力をローテーションしあい、支え合う人の存在が必要になるのではないかと思えます。

それが可能になるとすれば、

(E3)

知恵を出し合い、議論し、

- ① (全員／メンバー) の
- ② (この部分は割愛する)

納得のもとに決定する。

このサイクルを繰り返すことで、

(組織／チーム／会社) は

次は選択肢です。

判断のポイント

✓個人（一人）、みんな（一人ひとり）、組織（目的を持った集団）の関係について深掘りして考えてみましょう。

✓「一人は組織のために」「組織は一人のために」「組織はみんなのために」「みんなは組織のために」

「一人はみんなのために」「みんなは一人のために」「一人は一人のために」「みんなはみんなのために」

「組織は組織のために」

あなたの中で、「最も大切なもの」は何ですか？

(F1)

、その力を「足し算」ではなく、「掛け算」に高めていく<sup>4</sup>  
ことのできる

---

(F2)

強くなり、さらに一人一人の力も高まっていく

---

(F3)

最高のパフォーマンスを発揮する

---

のではないでしようか。